



第 703 回東京 YMCA 午餐会

戦争・平和・いのちを考える

「幸せなら手をたたこう」の作詞者としても知られる木村利人さん。1959年にフィリピンで開催されたYMCA国際ワークキャンプに参加した折にこの歌が生まれ、帰国後、早稲田奉仕園やYMCAなどで歌われ、さらに1964年のオリンピックの年に歌手の坂本九により全国的な大ヒットとなりました。自称軍国少年だった疎開児童は、敗戦と新憲法をどのように受け止め、またフィリピンでの体験で何をえたのでしょうか。その後、アジアと欧米で全く新しい学問『バイオエシックス（生命倫理）』を構想・展開するに至った木村利人さんとともに、戦争と平和、そしていのちの問題を考えます。

早稲田大学名誉教授

きむら りひと
木村 利人氏

【略 歴】 1934年、東京に生まれる。早稲田大学法学部卒（1957）。大学院修了後1965年よりタイ・SCM総主事（WSCF派遣）及びチュラロンコン大学、ベトナム・サイゴン大学、スイス・WCCエキュメニカル研究所副所長、ジュネーブ大学大学院、アメリカ・ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所等の研究員・教授。1987年、早稲田大学人間科学部創設にあたり、教授として日本で最初のバイオエシックス（生命倫理）講座を担当、研究と教育を推進。厚労省・厚生科学審議会委員、厚労省・医師国家試験委員、司法制度改革推進本部・法曹制度検討会委員、日弁連綱紀委員、恵泉女学園大学学長（2006～2012）、日本生命倫理学会第9期代表理事・会長などを歴任。現在、早稲田大学名誉教授のほか、ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所特任研究員、早稲田大学・ライフサポートイノベーション研究所招聘研究員、東京女子医大／早大共同大学院・生命倫理学担当講師、国際長寿センター(ILC)企画運営委員、日本赤十字社血液事業審議会会長などをつとめる。

【著 書】 『いのちを考える』（日本評論社：1987）
『自分のいのちは自分で決める一生・病・老・死のバイオエシックス＝生命倫理』（集英社：2000）
『バイオエシックス・ハンドブック』（法研：2003）
『いのちのバイオエシックス-環境・子ども・生死の決断』（コロナ社：2008）
『いのちを語る』＜日野原重明医師・デーケン神父との鼎談＞（集英社：2009）
『戦争・平和・いのちを考える～幸せなら態度に示そうよ！』（キリスト新聞社：2015） など多数

【と き】 2017年 5月 23日（火） 12:00～13:30

【と ころ】 東京大学YMCA 〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩0分 改札前エレベーターをのぼってすぐ。
裏面の地図をご参照下さい。

【参加費】 3,000円（食事なし1,500円）

【東京YMCA賛助会事務局】

TEL：03-3615-5562 / FAX：3615-5608

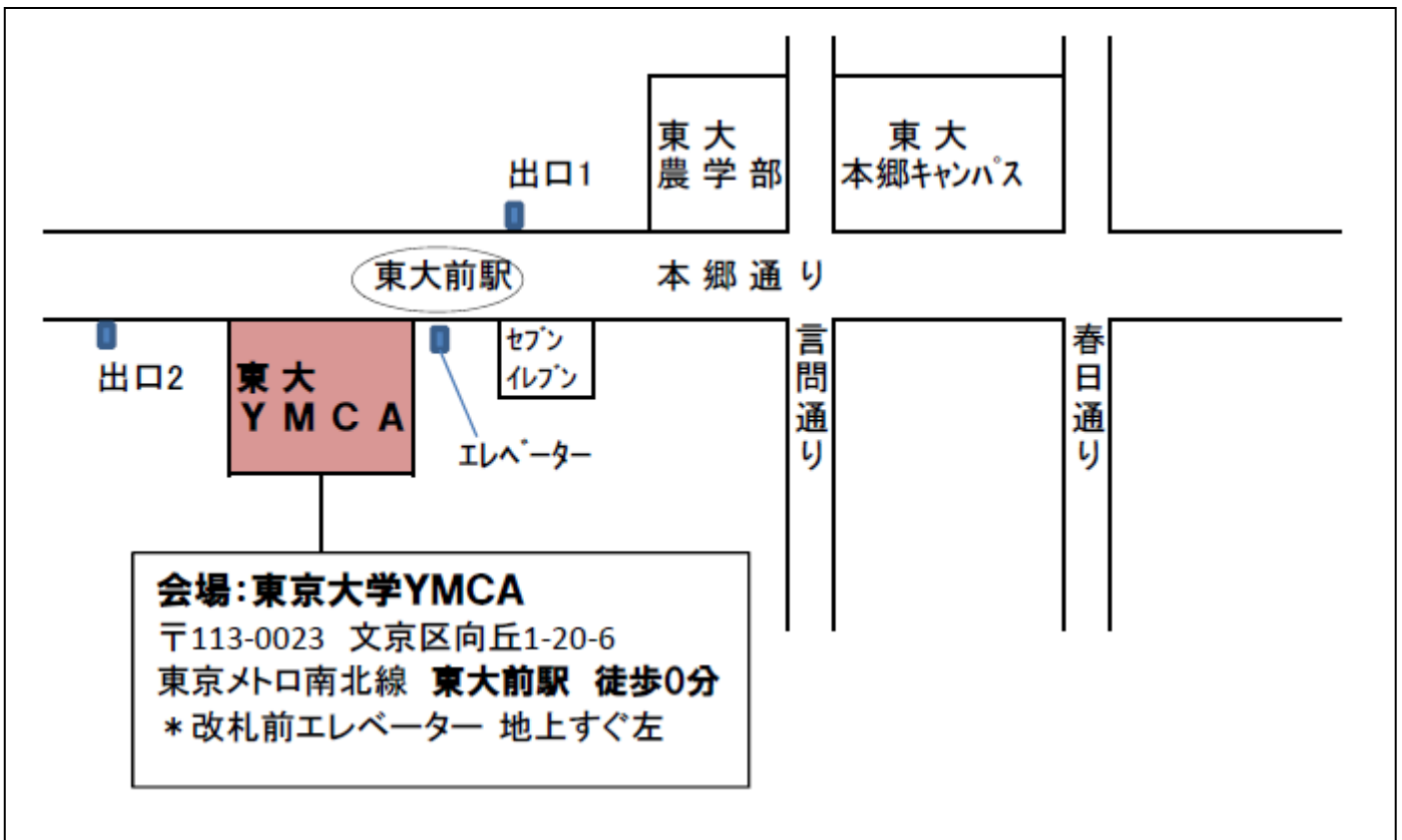
E-MAIL：sanjo@tokyoymca.org

お申し込み・お取り消しは、5月19日（金）までお願いいたします。

5月23日午餐会申込書 FAX:(03)3615-5608 sanjo@tokyoymca.org

- お名前: _____ E-MAIL: _____
- ご連絡先 TEL: _____ FAX: _____
- お食事: 要(¥3,000) ・ 不要(¥1,500) (○をつけて下さい)

<会場アクセス>



予 告

【6月の午餐会】

日 時: 2017年6月12日(月) 12時~13時30分

卓話者: 山根 道公氏 (ノートルダム清心女子大学教授・日本近代文学者)

テーマ: 未 定 (遠藤周作を中心としたキリスト教文学について伺う予定です)

【7月の午餐会】

日 時: 2017年7月20日(木) 12時~13時30分

卓話者: 山田 公平氏 (前アジア・パシフィックYMCA同盟総主事)

テーマ: 「2025年 超高齢社会への展望」

会 場: 東京大学YMCA